



適度なテンポ感で思わず引き込まれる入居者

札幌市内の高齢者住宅等で、全身白タイツの姿で笑いを交えたマジックを披露するボランティアがいる。同市内で有料老人ホームなどを紹介する、老後

クローズアップ 「お笑いマジックショー」 ——札幌市

クローズアップ

のあんしん札幌相談室(株式会社タイセイ)に勤める入居相談員の小宮拓郎氏で、東京都内で10年間お笑い芸人をしてきた経歴を生かし、同市内の介護事業所でボランティアを実践。

芸歴生かし高齢者住宅等で実践

レク内容や企画に頭を悩ませる事業者も多いが、小宮氏はそうした事業所に足を運び、「笑い」によって高齢者の元気を引き出すと、もに、得られた経験を本業にフィードバック

に、「ポケ」を交えながらトランプや紙コップを使用した本格的マジックを披露。入居者や子どもからの「ツツい笑い」を心がけている。札幌市内で20施設ほどを回ったという。

札幌市社協の芸能ボランティア部門にも登録しており、こうしたったきっかけは芸人引

し事業者向け高齢者レクセミナー等展開に役立っていたと考えた。14日には同市東区のサービス付き高齢者向け住宅「ひまり」で、毎月のカフェイベントに合わせ訪問。入居者と地域の子どもらを前に「いじる」手法

全身白タイツで「白血球」にふんしている小宮氏



退後に家業を継いでいる中、祖母が入居している認知症グループホームに訪問し、祖母のためにネタを披露したことから、普段笑わない入居者も笑顔になったと職員から聞き、笑いが高齢者の元気を引き出す可能性を感じ、新たなスタートへ踏み切った。

「職員、入居者ら現場の生の声が聞けるのは貴重。たくさん施設を回りたい。レク等で困っている事業所があれば、ぜひ声をかけてほしい」と呼び掛ける。問い合わせは☎090-91599024。